



ほなる
どる

行政改革の主な取り組みをご紹介します



市民と行政の協働によるまちづくり

市民と行政が同じ目的・目標を共有し、協働によるまちづくりに取り組んでいます。



市民交流テラス ワクティブ

こまきの整備

ボランティア活動、生涯学習活動とも連携を深め、新たな市民活動、交流の拠点施設として、令和2年9月に「市民交流テラス ワクティブこまき」をラピオビル2階にオープンしました。

地域協議会の設立・活動支援

地域の各種団体や住民が連携・協力し、さまざまな分野で地域課題の解決などに向けて、知恵と力を出し合っていく組織としてこれまで市内13小学校区で設立され、住民の交流や「学区防災訓練」「高齢者の生活支援」などの事業を実施しています。

情報提供の充実

「広報こまき」、ホームページ、SNSなどさまざまな媒体を活用して、分かりやすく効果的な市政情報発信に取り組んでいます。

こまき支え合いいきいきポイント制度の推進

介護施設やサロンでのお手伝い、高齢者のちょっとした困りごと支援などの活動に参加するきっかけづくりや継続支援としてこまき支え合いいきいきポイント制度を推進しています。

POINT!

※こまき支え合いいきいきポイント制度とは、地域の支え合い・助け合いの輪を広げることを目的に、平成29年10月に開始した制度です。

広聴機能の充実

市民ニーズに基づく市政を実現するため、また市民の意見を聴く機会の充実を図るため、タウンミーティング（令和2年度はウェブ会議システムを活用しオンラインで開催）、「市民の声」、「パブリックコメント」を実施しています。



行政サービスの質の向上 **UP**

ICTも活用しながら行政サービスの質の向上に取り組んでいます。

窓口業務の改善

年末年始を除く毎週日曜日の休日窓口、令和2年10月より、おくやみコーナー（死亡に伴う各種手続きを行うワンストップ窓口）の開設、各支所における取扱業務（国民年金、国民健康保険、後期高齢者医療、子ども医療、児童手当）の拡充など窓口業務の改善に取り組んでいます。

市民レポートシステム

「まちレポこまき」の運用

道路や公園遊具などの不具合において、LINEを活用し市民からの情報提供を受ける市民レポートシステム「まちレポこまき」を運用しています。



個人番号カード(マイナンバーカード)の普及・各種サービスの利便性向上

カードの普及とともに、市民病院の診察券として利用が可能（要事前登録）です。また、中央図書館での図書貸出券での利用準備など利便性の向上に取り組んでいます。

自動応答システムの導入

24時間365日、いつでも気軽にお問合せいただくことができる自動応答システムを導入しています。

持続可能な信頼される市政運営です

小牧市の行政改革は、「市民と行政の協働によるまちづくり」、「行政サービスの質の向上」、「効果的・効率的な行政運営の推進」、「健全財政の維持に向けた取り組み」により、市民の皆さんから信頼される市政運営を持続的に推進しています。

自治体経営改革推進計画（計画期間：令和元年度から令和4年度）は、ホームページで公表していますが、主な内容をご紹介します。



効果的・効率的な行政運営の推進

人材育成や経営資源の適正配分、ICTの活用などにより効果的・効率的な行政運営に取り組んでいます。

AI・OCR、RPAの導入・活用

業務の効率化に向けてデータの読取および入力等の定型かつ非専門的な業務を対象に、AI・OCR・RPAを活用しています。

POINT!

- ※ AI・OCRとは、手書きの書類や帳票の読み取りを行い、読み取り精度を大きく向上することができるもの。
- ※ RPAとは、機械的に行っているパソコンでの事務作業を、ロボットによって自動化すること。

ウェブ会議の活用

新型コロナウイルス感染拡大防止の必要性から外部の方との会議や研修参加に際し積極的にウェブ会議を活用しています。



多様な人材の確保

経験やスキルを重視した社会人採用や専門的知識を保有した人材の採用を行っています。

健全財政の維持に向けた取り組み

積極的な歳入確保策を実施し、将来にわたって健全財政の維持に取り組んでいます。



経常的経費の削減

厳しい財政状況の中、予算編成時には前年度予算額を基準に上限額を設定し、経常事業経費の削減を進めています。

市税等の収納率維持のための取り組み

令和2年5月よりスマートフォンによるキャッシュレス決済「PayB」での納付を開始し、今後「PayPay」、「LINE Pay」の導入も進めます。

新たな自主財源の確保

広告付き市域地図情報案内板・デジタルサイネージ広告、市民病院ホームページのバナー広告、ネーミングライツ（命名権）や壁面有料広告などの取組を行っています。

また、ふるさと納税ポータルサイト「ふるなび」、「auPAYふるさと納税」を追加し、寄附間口を拡大し、寄附者の利便性向上並びに寄附促進に努めています。（各取組による歳入額、寄附金額）

《令和元年度実績》

- 広告付き市域地図情報案内板・デジタルサイネージ広告 …… 約 69 万円
- ホームページバナー広告 …… 約 76 万円
- ネーミングライツ・壁面有料広告 …… 約 125 万円
- こまき応援寄附金 …… 約 9 億 9,584 万円 (35,634 人)
- ※法人等の寄附約 67 万円を含む



▲小牧原新田エネテック歩道橋

